

60代や70代の人もいます。

認定後の活動については主に、介護施設で行うスタイルや在宅訪問で行うスタイル、地域とのタイアップで実施するスタイルが多いです。具体的な事例を挙げると、地域での活動では、イベントが行われる際にセラピストが自ら声かけをして簡単な体験コーナーを設けたり、地域包括支援センターへ介護予防に関する研修の企画を提案して実現した例もあります。ほかにも癌の当事者が集う「がん力フェ」のなかで実施したり、地域の空き家を活用してセラピーが受けられるような活動をしている人もいます。たんにセラピーを行うだけでなく「地域に貢献したい」という気持ちをもつ人が多いため、セラピーを受ける対象が高齢者だけにとどまらず、地域住民同士のつながりだつたり、親子での触れ合いを目的としたイベントも行われています。

美容に特化した デイサービスがオープン

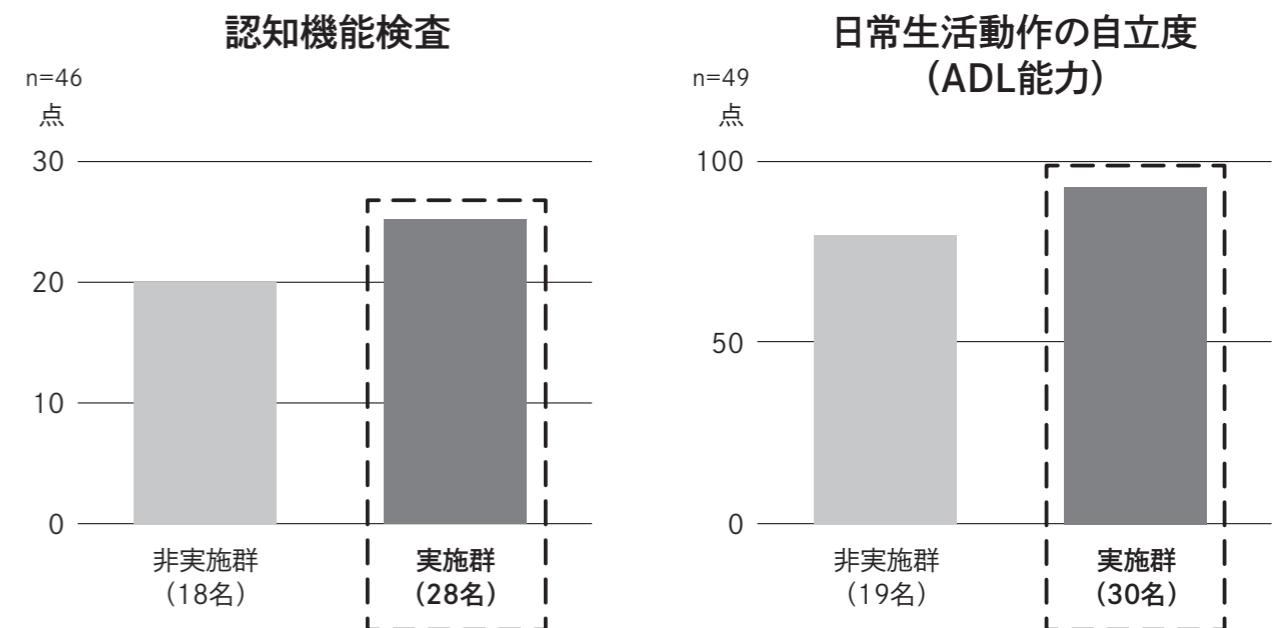
今後は介護美容を広めていくことはもちろん、日常的にスキンケ



アやメイクをする人のほうが「自立度が高い」という研究結果を得ています(図表)ので、セラピーを再びお手入れするきっかけにしてもらい、日常生活でもセルフケアを続けてほしいと考えています。そのため、高齢者でも使いやすい化粧品(モモテ)を、株式会社ナリス化粧品と共同で開発しました。高齢者の肌に合った成分を使用していることはもちろん、高齢者でも使いやすいテクスチャーや容器仕様を採用しています。

また、今年の8月に介護美容に特化したデイサービス「ふれあ姫島」をオープンしました。さまざまなセラピーを受けられるほか、セラフスキンケアメイクができるマシンなどを設置しています。美容を楽しんでもらうだけでなく、自信を取り戻してもらうきっかけになればと考えています。

図表 スキンケアと認知機能・自立度の関係



出典：日本早期認知症学会誌 2015 Vol.8 No.2 「定期的な化粧行動の有無による身体・認知・精神機能の比較 要介護高齢女性における検討」

続きは、本誌10月号をご覧下さい